

●学校支援情報●

岡崎むかし館通信



<http://www.city.okazaki.lg.jp/libra/803/p014017.html>
郷土学習のヒントとなる情報を発信します。

毎年「もう3月だ」と、言っている気がします…。

地域の再発見

野本先生のフィールドノートメモ

地域を歩くー松平往還ー

松平町にある高月院は松平氏の菩提寺です。徳川家康も先祖供養のために何度か墓参に出かけ、家康が通った道は松平往還と呼ばれていました。今、この松平往還を、歩いています。今回は、滝町から渡通津町までの道筋に残された遺構を中心に紹介します。

松平往還は、岡崎城から能見の辺りにあった北の門(信濃門)から出て、井田観音の辺りの三叉路の右「滝山寺道」を北上し、滝山寺に向かいます。滝山寺を左手に見ながら米河内まで向かい、ここから徳善寺[浄土真宗、寛永19年(1642)創建]の横を抜け、駒立町を過ぎて渡通津町へ入ります。



図-① 滝町 青木川にかかる石橋
(地元の人は、現在も橋として使用)



図-② 滝町 松平往還



図【調査地の簡略図】
実線:道路、破線:松平往還

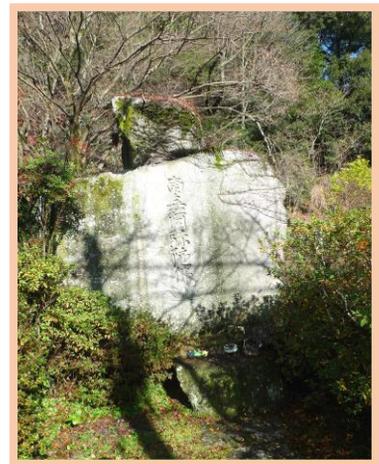


図-③ 滝町 松平往還沿いに残る
「供養碑」/文政6年(1823)の銘

地域の再発見

(地域を歩くー松平往還ー つづき)



図-④ 米河内町 民家を見下ろす所に建つ「弥勒神社」



図-⑤ 米河内町 近藤家の庭に建つ「従是西瀧山寺御神領」の傍示



図-⑥ 渡通津町に残る道標「右をかざき 左大谷村」

いつか、松平往還の全容を報告します。現在、色々な地域を歩き、文字には表されない多くのものが地域には残されていることを改めて実感しています。自分の目で確かめ、地域の人に教えを受け、それを基に地域の過去と現在を知り、その成果を返し、未来を考える場を設けていきたいと考えています。【N】

むかし館の活動より

愛知県内の博物館・資料館などをめぐる「ひなまつりスタンプラリー」

2月4日(土)から3月12日(日)まで、「ひなまつりスタンプラリー」を実施しています。このスタンプラリーは、愛知県内の博物館等施設の有志により始められたもので、今年で6回目。広域に渡って施設が連携することで、より多くの方に興味を持ってもらえるのはとても有意義なことだと思います。市内では旧本多忠次邸や美術博物館が参加しており、当館は今年初参加です。規模は小さいですが、館内の様々なケースにおひな様や土人形などを展示し、幅広い年齢層の来館者で賑わっています。この機会に県内の施設を巡り、知ることもよいのではないのでしょうか。



薩摩雛
(このおひな様は隠れています)



おかざき玉手箱
(扉をあけると、ひな飾りが!)



顔出しパネル
(大人も挑戦してほしいです)

地元の方も野本先生との調査で、松平往還に対する認識を新たにし、少しずつPRや整備に取り組み始めているそうです。過去をしっかりと見つめることは、地域力UP!につながるのですね。

●編集/発行(隔月) 岡崎市立中央図書館・企画班 平成29年3月
〒444-0059 岡崎市康生通西4-71 tel.0564-23-3167 / fax.0564-23-3165

開催中 【学習展示「道具に見るくらしの変化」 ～3/21】
＜衣・食・住＞にまつわる代表的な道具を取り上げ、使い方や特徴を紹介
【季節展示：「むかし館のひな飾り」 ～3/21】

次回【企画展「昭和の岡崎スケッチ」(3/21～5/23)】
昭和の岡崎を描いた早川円浄氏の色紙作品と図書館の関連資料を展覧し、近代の建造物や当時のくらしを紹介